

機械学習を用いた画像生成技術の核医学検査画像への応用

(大阪大学医学部附属病院倫理審査委員会： 承認番号 25058)

【研究の対象】

2009 年 1 月～2030 年 3 月に当院で核医学検査を受けられた方

【研究目的・方法】

核医学画像は、放射性薬剤の体内分布を表現することで機能的情報を提供しますが、その一方で細かい構造の表現には課題があります。本研究の目的は、画像を生成する機械学習の技術を用いて、核医学検査画像の病変を評価しやすくし、より診断に役立てるようにすることです。本研究では、核医学検査にて診療目的で撮像された画像データを使用します。画像は個人情報を特定できない形式にした上で機械学習に用います。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2031 年 3 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：2025 年 5 月

【研究に用いる試料・情報の種類】

核医学検査は代謝を評価する画像であるため、年齢や性別などの基本的な情報から手術歴や内服歴などの既往歴、関連する検査データなどに影響を受けます。本研究の対象データに対して適切な状況下で検査が行われたかどうか、必要に応じて下記の診療情報を用いて確認を行います。

性別、生年月日、身長、体重、検査実施日、依頼時病名、病歴、治療歴、内服薬、血液検査、心電図、QOL スコア、予後情報等

【外部への試料・情報の提供】

外部へのデータの提供はありません。

【研究機関名】

大阪大学医学部附属病院（単施設）

【お問い合わせ先】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 診療放射線技師

阪上昌弘（研究責任者）

TEL : 06-6879-6812

E-mail: m_sakaue@hp-rad.med.osaka-u.ac.jp